



2022年3月期 報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

証券コード：2121



MIXI REPORT

MESSAGE

ごあいさつ

2022年3月期の業績概要

2022年3月期の通期連結業績は売上高1,180億円(前期比1.0%減)、EBITDA(償却前営業利益)203億円(同25.0%減)、営業利益160億円(同29.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益102億円(同34.6%減)となりました。

スポーツセグメントの売上高は、185億円と増収になりました。スポーツ観戦事業は、プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツ」が2020-21シーズンにBリーグ初優勝を果たしたため、スポンサー収入等が増加いたしました。公営競技事業では、共遊型スポーツベッティングサービス「TIPSTAR」、競輪・オートレース車券のオンライン投票サイト「チャリット.com」が伸びました。また、ネットドリーマーズ社が運営する競馬情報サイト「netkeiba.com」においては2021年12月、MAUが過去最高の1,700万人を突破いたしました。

ライフスタイルセグメントは、「家族アルバムみてね」のマネタイズ強化や「minimo」の好調により、売上高83億円と増収になりました。

デジタルエンターテインメントセグメントは、売上高912億円と減収になりました。主力の「モンスターストライク」は、上期は前年同期比で減収となっておりますが、8周年イベントや年末年始イベント、人気IPとのコラボが奏功したことで、下期は前年同期比で増収となっております。

今後の事業方針

当社は2022年3月期を「種まき」、2023年3月期を「育成」、2024年3月期以降を「収穫」の期と位置付けております。今期は「育成」期として、

成長の兆しが見えた事業へ追加投資を行い、事業ポートフォリオを最適化して「収穫」期における収益の最大化を目指してまいります。

スポーツセグメントの公営競技事業においては、「TIPSTAR」や「チャリット.com」など車券販売のプラットフォームに加え、コンテンツ生成のバリューチェーンとして重要な役割を果たす競輪場運営や、それらへの送客機能となる「netkeirin」などのメディアも運営しております。各サービスは単体でも高い成長を実現しておりますが、連携してシナジーを生むことで、当社独自のポジションを確立し、さらなる成長を図ってまいります。スポーツ観戦事業においては、千葉ジェッツ、今期より連結開始となるFC東京のチーム経営によるコンテンツの提供と、コンテンツを楽しむプラットフォームを併せ持つことでシナジーを生み、事業拡大を目指してまいります。当該市場はコロナ禍の影響で半減しておりますが、今後は以前の水準まで回復が見込まれております。これに加えてDXの推進により、市場成長をけん引していくことができると考えております。

ライフスタイルセグメントは、「みてね」においてM&Aや出資・業務提携によるシナジーを活用したサービス拡充を行っております。今後もマネタイズ手段の拡充による「みてね」経済圏拡大を推進いたします。

デジタルエンターテインメントセグメントでは、「モンスターストライク」IPを活用した新規タイトル「モンスターシリーズ」の開発を進めます。3年振りにオフラインでの開催が決まった「XFLAG PARK」を中心とするイベントやマーチャндаイジングなどメディアミックスも活用し、「モンス

ト」経済圏の構築と拡大を図ってまいります。

また当社は、既存事業とのシナジーによる事業拡大を目指し、M&Aや資本業務提携をはじめとした積極的な投資を継続しております。なお、この投資実績の拡大と重要性を勘案し、2022年6月の定時株主総会にて、スタートアップやファンド出資等の投資活動を事業化するための定款変更をご承認いただきました。

株主の皆さまへ

当社は中期経営方針のもとで、事業成長を加速するための投資を進める一方、安定的かつ継続的な株主還元に努めております。2022年3月期の1株当たり期末配当は55円、中間配当と合わせて110円を実施いたしました。2023年3月期の年間配当は、1株当たり110円を見込んでおります。

また、2022年10月より、社名を株式会社ミクシから株式会社MIXIに変更いたします。社名表記を新コーポレートロゴと統一し、企業として一貫性のあるブランドを発信することでブランドエクイティを高めていきたいと考えております。株主の皆さまには、これまで以上のご指導とご支援をお願い申し上げます。



代表取締役社長 木村 弘毅

SPORTS

スポーツ

FC東京がミクシグループに参画 スポーツ観戦事業のさらなる拡大へ

2022年2月、FC東京を運営する東京フットボールクラブの株式を取得し、連結子会社といたしました。千葉ジェッツ運営の知見やDXも活かして事業拡大を目指します。

「TIPSTAR」効率的な運営を 継続しつつサービス改善を推進

「TIPSTAR」におきましては、第3四半期にTVCMおよび還元の施策を行いました

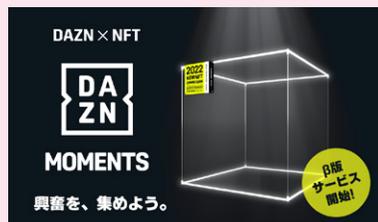
通りの結果を得られず、施策はいったん停止いたしました。現在、コストを圧縮した効率的な運営を行っております。

今期は、ユーザーの反応がよい、ほかのユーザーの予想と同じ予想で賭ける「のっかりベット」がしやすくなるUI改修や、ニュースフィード機能追加などベッティングを通じたコミュニケーションを活性化させるプロダクト改修を進めることで、SNS「mixi」や「モンスターストライク」で培ったバイラルのノウハウを活かしてユーザー数の拡大を目指してまいります。

NEW SERVICE 「DAZN MOMENTS」

心に残る名シーンを何度でも楽しむ

2022年3月、スポーツのスーパープレーやメモリアルシーンをコレクションできるスポーツ特化型NFTマーケットプレイス「DAZN MOMENTS」の提供を、スポーツチャンネル「DAZN」と共同で開始いたしました。繰り返し見たい「思い出の瞬間」をNFTコンテンツとして所有し、好きなチーム・選手の映像を心ゆくまで楽しめます。現在、サービス第一弾として、「DAZN J.LEAGUE MOMENTS」を提供中です。



NFTとブロックチェーンの仕組み

NFT(Non-Fungible Token:非代替性トークン)は、代替が利かない唯一無二のデジタル資産を指します。個々のNFTコンテンツにはシリアルナンバーが振られ、唯一性がもたらされます。その唯一性を証明するのが、デジタル資産の取引履歴をブロックに記録して鎖のようにつなげる「ブロックチェーン技術」であり、たとえサービス提供者であってもデジタル資産の改ざん・消去はできません。「DAZN MOMENTS」は、次世代ブロックチェーン「Flow」を用い、NFTを含むアプリケーションを構築できる特長を持っています。

LIFESTYLE

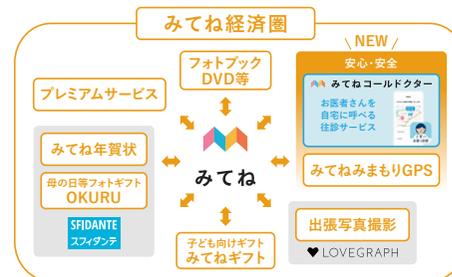
ライフスタイル

「家族アルバム みてね」 多様なサービスを拡充

「家族アルバム みてね」におきましては、引き続き「みてね経済圏」の拡大に向け国内のサービス拡充を行っております。2022年1月、夜間・休日の自宅往診サービス「コールドクター」を提供する株式会社コールドクターと資本提携し、最短30分で自宅に医師を呼べる往診アプリ「みてねコールドクター」を同年4月より展開しております。また、子どもの見守りサービス「みてねみまもりGPS」でも、バッテリー容量や位置精度が向上した第2世代モデルを販売中です。

さらに、2020年4月に資本提携した株式会社ラブリグラフィックにつきましては、「みてね出張撮影」などのご好評を受け、2022年3月に同社を子会社化し連携を強化いたしました。

また、海外においてもマーケティング施策を強化し、直近では海外比率が30%を超えるまでユーザー数が拡大しております。引き続き海外のユーザー数増加の施策を継続し、より大きなサービスを目指していきたいと考えております。



DIGITAL ENTERTAINMENT

デジタルエンターテインメント

「モンスターストライク」はARPU回復

「モンスターストライク」は第2四半期においてARPU(ユーザー1人当たりの平均売上金額)が減少していましたが、2021年10月の8周年記念イベント、また、それに続く年末年始イベントでの盛り上げに成功したほか、2022年3月にスタートしたテレビアニメ「鬼滅の刃」とのコラボイベントの好調もあり、ARPUは前年同期と同水準まで回復いたしました。



©吾峠呼世晴/集英社・アニメプレックス・ufotable ©XFLAG

米国で新作ゲームをリリース

2021年12月、米国において新作ゲーム「Crossroad Tales: Co-Op Stories」をリリースいたしました。ユーザーがストーリーを読み進め、選択肢から選ぶ「インタラクティブストーリー」のゲームです。小説やドラマに代わるエンターテインメントコンテンツとして海外で若い女性を中心に人気を集めている領域であり、直近5年の同市場のCAGR(年平均成長率)は16%と大きな成長を遂げております。



FEATURES

特集：企業理念の再定義・コーポレートブランドリニューアル

背景

これまで私たちは、多くのコミュニケーションサービスを提供してまいりました。SNSにおいてもゲームにおいても、そしてスポーツにおいても、情報をやり取りするだけではなく、いかに心や感情を通い合わせるかを追求してきたのがミクシィグループだと考えております。今回、改めてこのことを踏まえ、2022年4月より、新たな企業理念を制定し、併せてコーポレートブランドをリニューアルいたしました。

企業理念の再定義

新たな企業理念では、当社グループの存在意義(パーパス)、何を行うか(ミッション)、意思決定の軸(ミクシィ・ウェイ)を表現しております。

パーパスである、**豊かなコミュニケーションを広げ、世界を幸せな驚きで包む。**とは、当社グループが創業以来大切にしてきたことであり、未来に向けてさらに大切に意思でもあります。これからも、コミュニケーションの量や頻度よりも、その質、すなわち熱量の高いエモーションを大切に、濃く深い、豊かなコミュニケーションのドライブにより、感情豊かで幸せな驚きに包まれた世界を生み出してまいります。



パーパス実現のために成すべきミッションが、「心もつながる」場と機会の創造。です。ただ「つながる」のではなく、「心もつながる」場と機会を世界中に創り出してまいります。

ミッションを実現するミクシィ・ウェイとして、**ユーザーサプライズファースト**を掲げました。制作現場から経営判断まで、ユーザーの驚きを最優先に考えるという意志が込められております。

さらに今回、従業員が理念を体現していく行動指針として**発明・夢中・誠実**という3つのバリューを新たに制定いたしました。「発明」では「想像を超えよう」、「夢中」では「まずは自分たちが楽しもう」、「誠実」では「正直でいよう」と訴えております。

コーポレートブランドの変更

新しいコーポレートロゴは世界のコミュニ

ケーションインフラとしての信頼感、安定感、普遍性、リーディングカンパニーとしての存在感を表現し、下部に赤とオレンジのアンダーバーを配置いたしました。さらに新タグラインとして、歓喜や興奮、幸せを共有し、心のつながりを生み出したいとの思いを込めた**心もつながろう。**を付しております。

これまで当社は「SNSの会社」というイメージが強く、「モンスターストライク」のように広く認知されているサービスがあっても、当社のサービスであると認識されていないという課題がありました。今後は各サービスのブランド力をコーポレートブランドエクイティの向上につなげ、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

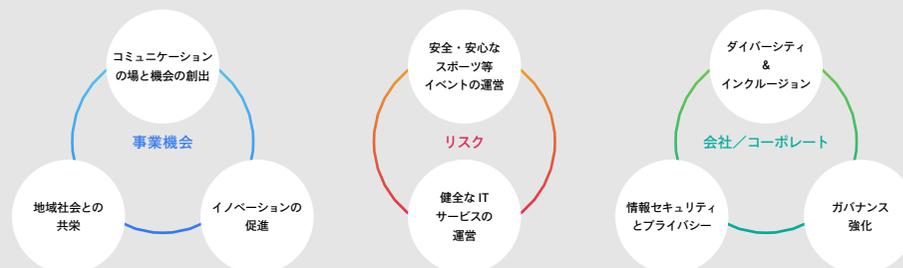
社名表記を「MIXI」に変更

新しいコーポレートロゴとの統一を図り、2022年10月1日付で社名表記も従来のカタカナからアルファベット大文字に改め、「株式会社MIXI」に変更いたします。今後は企業として一貫性のあるブランドを浸透させ、ブランドエクイティを高めることで企業価値の最大化を目指してまいります。

マテリアリティの特定

当社は企業活動・ステークホルダーへのインパクトという視点から企業活動を通して実践するテーマとして、8つのマテリアリティを特定いたしました。

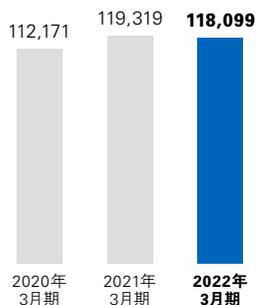
コミュニケーションサービスを生み出す企業として、人・地域・社会のつながりの創出とイノベーションの促進を価値創造の源泉とするとともに、健全なサービス運営に真摯に取り組んでまいります。また、情報セキュリティとプライバシー・多様な人材の活躍・ガバナンスという経営基盤の強化・改善を推進してまいります。



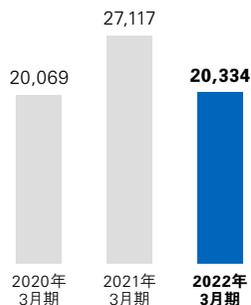
INFORMATION

連結業績・財務／会社情報

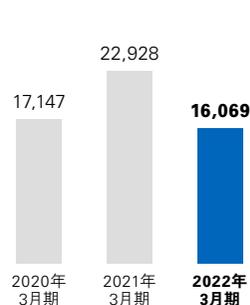
売上高 (百万円)



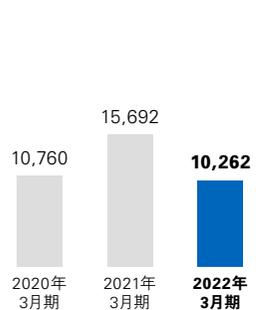
EBITDA (百万円)



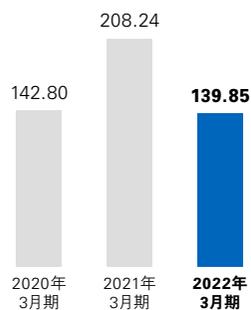
営業利益 (百万円)



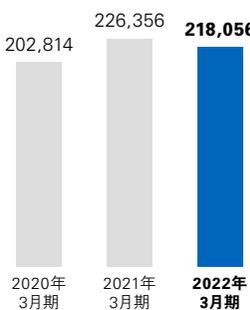
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)



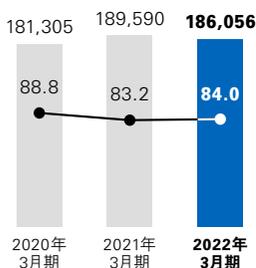
1株当たり当期純利益 (円)



総資産 (百万円)



純資産 (百万円) 自己資本比率 (%)



1株当たり配当金 (年間) (円)



■ 純資産 ● 自己資本比率

「mixi REPORT」 ウェブ化のお知らせ

上期・通期の年2回、株主の皆さまへお届けしております当報告書「mixi REPORT」につき、地球環境などに配慮した省資源化の観点から、今回の2022年3月期通期より紙面の郵送を取りやめ、当社IRサイトに掲載いたします。

会社概要 (2022年3月31日現在)

会社名	株式会社ミクシィ (mixi, Inc.)
所在地	〒150-6136 東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号 渋谷スクランブルスクエア36F
ウェブサイト	http://mixi.co.jp/
設立	1999年6月3日
資本金	96億98百万円
従業員数	1,452名(連結・正社員のみ)

役員 (2022年6月28日現在)

代表取締役社長	木村 弘毅
取締役	大澤 弘之
取締役	村瀬 龍馬
取締役	笠原 健治
社外取締役	嶋 聡
社外取締役	藤田 明久
社外取締役	長田 有喜
社外監査役(常勤)	西村 裕一郎
社外監査役	若松 弘之
社外監査役	上田 望美

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	264,000,000株
発行済株式の総数	78,230,850株
株主数	22,147名

大株主 (2022年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
笠原 健治	33,001,900	45.49
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	7,174,400	9.89
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	4,027,000	5.55
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,870,600	2.58
THE BANK OF NEW YORK 133612 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	1,609,800	2.22

※当社は5,677,300株の自己株式を保有しています。当該株式には議決権がないため上記大株主からは除外するとともに、持株比率の算出についても、当該株式数を控除しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日

株主名簿管理人	東京都千代田区 および特別口座の 丸の内一丁目4番1号
口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区 丸の内一丁目4番1号 証券代行部 郵便物送付先: 〒168-0063 東京都杉並区 和泉二丁目8番4号 電話照会先: ☎0120-782-031 インターネットホームページ: URL: https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
-------------------	--

公告の方法	電子公告 http://www.mixi.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。
-------	---